

FACE

地域こども学科 こども教育コース



自分と仲間を信じて学んでいく。
そして子ども達の悩みに寄り添える教育者に！

VOICE

なぜ短大で小学校教員免許を取ろうと思いましたか？

吉岡夢結愛さん・古澤愛さん・尾谷華奈さん（右写真，左から順）

○ 短大は、4年生大学に比べ2年早く社会に出ることができます。社会経験を多く積むことができるので短大を選びました。教育コースでは保・幼・小の資格が取れることが魅力的で、奈良佐保短大に決めました。

〈吉岡さん，宮崎県立飯野高等学校出身〉

○ 幼稚園教諭になりたいと思っていましたが、保幼小連携のこともより専門的に学びたいと思い、小学校教員免許を目指しました。今、少人数制で指導を受けている中で、全員で助け合いながら頑張っています。

〈古澤さん，奈良県立西の京高等学校出身〉

○ 小さい頃から幼稚園の先生になりたいと思っていましたが、小学校教諭の免許も取りたいと思い、3つの資格・免許が取れる短大を選びました。奈良佐保に入学してから、実際に小学生と関わったり、短大で小学校教育について学ぶ中で、小学校教員になりたいと思うようになりました。

〈尾谷さん，兵庫県立豊岡総合高等学校出身〉



清水彩加さん・武田羽琉さん・原田龍ノ助さん（左写真，左から順）

○ 私は幼稚園年長の時、小学校に進学することへの不安が大きかったという経験があります。だからこそ、同じような思いを持った幼児に寄り添うことができたらいいなと思い、小学校教員免許を持つ保育者を目指すようになりました。

〈清水さん，京都府立木津高等学校出身〉

○ ピアノを生かした仕事に就きたいと思い、保育者になろうと短大進学を決めました。将来の進路の選択肢の1つとして小学校教員免許を取ろうと思いました。その中で、1回生の時の小学校でのボランティアがきっかけとなり、「小学校教員になりたい」という気持ちが強くなりました。今は、小学校教員になるために、授業、実習準備、試験対策を頑張っています。

〈武田さん，和歌山県立神島高等学校出身〉

○ 進路についていろいろ悩みましたが、公務員を目指そうと、高校生の時に教員になることを決意しました。奨学金を受けて進学することを決めていたので、経済的な負担が少なく早く就職ができる短期大学を選びました。奈良佐保を選んだのは自宅から近かったことも理由の1つです。

〈原田さん，奈良県立登美ヶ丘高等学校出身〉



Face & Voice 今、実習に向けて頑張っていること

丸本真維さん

<奈良県立法隆寺国際高等学校出身>

私は実習に向けて、手遊びや絵本などの教材研究を頑張っています。季節や年齢に合ったものを選ぶように心がけ、どのようにしたら子どもたちに楽しんでもらえるかを悩みながら、授業の模擬保育で実践しています。



松山莉帆さん

<奈良県立西の京高等学校出身>

私は裁縫が得意なので月齢に合わせた「手袋シアター」や「エプロンシアター」を作成しています。子ども達がより楽しめるよう、自分自身が緊張せず笑顔で楽しむことを心がけ、友人と練習しあう中で、意見交換をしています。

西村流南さん

<奈良県立西の京高等学校出身>

今、私が実習に向けて頑張っていることは、ピアノの練習です。実習で子どもの前で弾くときに緊張することがないように、「季節のうた」や「生活のうた」を毎日一度は練習することになっています。

福井 亮さん

<奈良県立添上高等学校出身>

子ども達が体を動かすことを心から「楽しい!!」と思えるように、保育者としてどのように配慮や工夫をすればよいかを考えています。まずは、保育者の自分自身が「思いきり楽しむこと」をモットーに頑張っています。



海野優花さん

<奈良県立高円高等学校出身>

学科授業では、ピアノ、運動遊び、模擬保育など演習の授業が充実しています。どれも実習に向けて実践的な活動で実習指導でとても役立ちます。そのため、休むことなく授業に出席し、毎回真剣に取り組んでいます。

山本真子さん

<奈良県立奈良英高等学校出身>

私は今、子どもの年齢に応じた活動のための教材を作っています。季節に合わせ、秋にちなんだ「きのお面」づくりなど、子どもが興味を持ち楽しい雰囲気での活動ができるよう手遊びやピアノの練習も頑張っています。



私たちは、秋の実習で子どもたちに会えることを楽しみに、新型コロナウイルス感染予防にも努めながら日々頑張っています

『プチアセビ』のバックナンバーを
ご覧いただけます。



ナラサホ公式SNSアカウント

